

「ゼニタナゴ（環境省 I B・秋田県 I A）保全池での種保存と保全活動」

平成 18 年度日本動物園水族館協会野生動物保護募金より助成を受けた活動「ゼニタナゴ（環境省 I B・秋田県 I A）保全池での種保存と保全活動」について、以下の通り報告いたします。

秋田市大森山動物園

1. 活動状況

(1) ゼニタナゴ保全キャンペーン活動（平成 18 年 8 月 16 日）

8 月 16 日動物園内で「ナイト ZOO ジャズフェスティバル in ミルヴェー守ろう秋田のゼニタナゴ」を開催。会場内ではパネルや水槽展示を行うと共に、ゼニタナゴの保全活動のための募金を集めた。

来客数：約 1,000 人

募金総額：118,151 円

(2) ボランティア組織の立ち上げ(ボランティア募集)

(3) ゼニタナゴ保全池の各種工事施工

①保全池の造成場所の草刈り、枝払い作業

②保全池の造成工事

③排水管の取り付け、保全活動の解説板の設置、池への給水、水草移植、ゼニタナゴ・ドブガイの放池

(4) ゼニタナゴ保全池の生息状況調査（平成 18 年 11 月 12 日）

池の水を抜き、ゼニタナゴおよびドブガイの生息状況調査

【結果】

- ・全てのゼニタナゴとドブガイの生息を確認
- ・新たなドブガイへの卵の生み付けはなし
- ・トウヨシノボリ約 50 匹とアメリカザリガニ 1 匹の池への混入を確認し、混入防止対策を講じる

(5) ゼニタナゴ保全池の生息状況調査

池の水を抜き、ゼニタナゴとドブガイの生息状況調査およびゼニタナゴの稚魚の遊出確認

【結果】

- ・ゼニタナゴ成魚 7 匹の生息を確認、ドブガイは全て生息を確認
- ・産卵のあったドブガイの中に遊出前の仔魚を確認
- ・トウヨシノボリ 5 匹の混入を確認

(6) 塩曳潟のゼニタナゴ稚魚の調査、採捕

2. 活動成果の公表

(1) 平成 18 年 9 月 28 日

第 128 回関東東北ブロック動物園水族館技術者研究会にて口頭発表

(2) 平成 19 年 5 月 22～24 日

平成 19 年度 (社) 日本動物園水族館協会通常総会・協議会にてポスター発表

(3) 平成 19 年 9 月 23 日

第 78 回 (社) 日本動物学会弘前大会「動物学ひろば」にてブース展示

3. 今後の課題

これまでの水生生物調査により園内の塩曳潟に希少種であるゼニタナゴの生息が確認され、今回の活動では、緊急的に絶滅を回避することを目的として、保全池を造成した。保全池には、ゼニタナゴと繁殖に必要なドブガイも放したが、繁殖は確認できなかったため、保全池内で繁殖できる環境について、検討を行う必要がある。

しかし、今回の調査で確認されている塩曳潟のゼニタナゴの生息数は少なく、また、繁殖に関わるドブガイの個体数も少ない。さらに、シナイモツゴやアカヒレタビラなどの希少な淡水魚も生息しているため、継続的なこれらの生息状況の調査も必要である。

前回の活動と同様に、これらの活動についても広く普及啓発が必要であり、可能な限り地域住民も参加できるような活動を行っていきたい。

収支報告

保全池施工費(材料、施工など)	366,306 円
その他活動経費(材料、消耗品、用品など)	52,299 円
合 計	418,605 円

助成金 30 万円を、この支出の一部に使用した。

(領収書の添付あり、今回省略)